

2019年度(2020年3月期) 第1四半期決算説明会



2019年7月29日
大正製薬ホールディングス株式会社
取締役 上原 健



2019年度第1四半期実績：概要

(億円)

	2018年度 1Q	2019年度 1Q	前年同期比増減	
売上高	617	603	-15	-2.4%
セルフメディケーション	425	429	+4	+1.0%
医薬	193	173	-19	-10.0%
営業利益	82	83	+2	+2.0%
経常利益	122	76	-46	-37.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	137	110	-27	-19.6%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2019年度第1四半期：各事業の概要

【SM国内】 344億円（前年同期比 +4億円, +1.2%）

- 主要製品は全体として前年並みとなった
- 通信販売事業は伸長

【SM海外】 78億円（前年同期比 +1億円, +1.0%）

- ドリンク剤が減少したものの、OTC医薬品等が増加
- 為替の影響は軽微

【医薬】 173億円（前年同期比 -19億円, -10.0%）

- 富山化学品分が減少
- 育成品は伸長



2019年度第1四半期:SM国内 売上高

- ・リポビタンは、天候の影響を受け減少
- ・一方でパブロンは、風邪の流行を受け増加

(億円)

	2018年度 1Q	2019年度 1Q	前年同期比増減	
リポビタンシリーズ	133	128	-5	-4.0%
パブロンシリーズ	51	58	+7	+12.8%
リアップシリーズ	34	36	+2	+5.9%
ビオフェルミンシリーズ	24	25	+1	+6.2%
ヴィックスシリーズ	6	7	0	+8.0%

注:金額は億円未満四捨五入

<ご参考:市場の状況>

国内OTC医薬品市場:前年同期比(4~6月)-0.4%
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2019年度第1四半期：SM海外 売上高

- ・OTC等は、主要国の成長に加え、昨年の一時的な出荷減の反動増
- ・ドリンク剤は、生産ライン障害による一時的な出荷減等の影響

(億円)

	2018年度 1Q	2019年度 1Q	前年同期比増減	
SM海外	77	78	+1	+1.0%
ドリンク剤	30	26	-4	-12.9%
OTC医薬品等	42	50	+9	+21.3%
アジア	39	46	+7	+18.8%
その他	3	5	+2	+54.9%

注：金額は億円未満四捨五入



2019年度第1四半期：医薬 売上高

- ・概ね計画通り
- ・ルセフィ、ジェニナックは送品のタイミングによる増加も含む

(億円)

	2018年度 1Q	2019年度 1Q	前年同期比増減	
エディロール	59	65	+6	+10.1%
ボンビバ	14	16	+2	+10.4%
ルセフィ	11	19	+7	+65.8%
ロコア	8	9	+1	+16.4%
ジェニナック	2	8	+6	+250.5%

注：金額は億円未満四捨五入

<ご参考：市場の状況（前年同期比）>

- 医療用医薬品市場 +2.3%
- ・SGLT2阻害剤市場 +18.6%
- ・抗菌薬市場 -9.8%
- ・骨粗鬆症及関連疾患用
ビスホスホネート市場 -13.6%
- ・ビタミンD₃市場 +6.8%



2019年度第1四半期：売上高・利益増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (-15億円)	セルフメディケーション事業 (+4億円)	医薬事業 (-19億円)
営業利益 (+2億円)	売上総利益* +8億円 (売上総利益率* 前期65.7% → 当期68.5%)	
	販管費 +6億円	
	(内訳)	(要因)
	研究開発費 +6億円	TS-152フェーズアップ
	広告宣伝費 +5億円	新製品、競合対策
	販売促進費 -7億円	売上に連動した減少
	人件費 -18億円	早期退職の影響
その他 +20億円	M&A関連費用	

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入



2019年度：通期業績予想

・通期業績予想の修正：有

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
売上高	2,935	+319	+12.2%	2,535	+400
セルフメディケーション	2,255	+454	+25.2%	1,855	+400
医薬	680	-134	-16.5%	680	-
営業利益	330	+18	+5.7%	355	-25
経常利益	370	-39	-9.4%	425	-55
親会社株主に帰属する 当期純利益	295	-191	-39.3%	285	+10
1株当たり当期純利益(円)	369.64	-	-	357.11	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2019年5月13日時点の予想との比較



2019年度: SM海外 通期業績予想

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
SM海外	723	+414	+134.2%	323	+400
アジア	429	+153	+55.3%	289	+140
欧米	282	+263	-	22	+260

注: 金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2019年5月13日時点の予想との比較



2019年度予想：売上高・利益増減要因

(前期比増減額)

売上高 (+319億円)	セルフメディケーション事業 (+454億円)	医薬事業 (-134億円)
営業利益 (+18億円)	売上総利益* +198億円 (売上総利益率* 前期65.1% → 当期64.7%)	
	販管費 +180億円	
	(内訳)	
	研究開発費	+18億円
	広告宣伝費	+39億円
	販売促進費	+27億円
	人件費	-1億円
その他	+98億円	

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2019年7月29日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ3			
TS-152 (注射)	抗TNF α 抗体 関節リウマチ	自社	国内
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害 (AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内
TS-142 (経口)	不眠症	自社	国内
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：フェーズ1

(2019年7月29日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外
TS-161 (経口)	うつ病	自社	海外